

## 発議第1号

### 議員派遣の件について

上記議案を地方自治法第100条第13項及び、みなかみ町議会会議規則第129条の規定により、別紙のとおり提出します。

平成29年6月1日 提出

みなかみ町議会議長 林 喜美雄

## 議員派遣の件

次のとおり、議員を派遣する。

### 1. ユネスコ人間と生物圏（MAB）計画国際調整理事会

- (1) 目的 ユネスコエコパーク登録の可否の確認のため
- (2) 派遣場所 フランス パリ
- (3) 期間 平成29年6月11日（日）7日間
- (4) 派遣議員 林 喜美雄

### 2. 台湾交流参加

- (1) 目的 国際交流に資するため
- (2) 派遣場所 台湾 台南市
- (3) 期間 平成29年6月22日（月）5日間
- (4) 派遣議員 森 健治、鈴木 初夫、石坂 武、  
中島 信義、阿部 賢一、山田 庄一、  
河合 生博、久保 秀雄、森下 直

3. 町村議会広報クリニック参加

- (1) 目的 議会広報の発展に資するため
- (2) 派遣場所 東京都千代田区（シェーンバツハ・サボー）
- (3) 期間 平成29年7月4日（火）
- (4) 派遣議員 高橋久美子、森 健治、石坂 武  
中島 信義、山田 庄一、原澤 良輝

4. 利根郡町村議会議長会議会議員・事務局長研修会参加

- (1) 目的 円滑な議会運営に資するため
- (2) 派遣場所 みなかみ町（猿ヶ京ホテル）
- (3) 期間 平成29年7月13日（木）2日間
- (4) 派遣議員 全議員

平成29年第2回(6月)みなかみ町議会定例会請願文書表

番号	請願件名 請願趣旨	請願人 紹介議員	受理年月日 付託委員会
請願第3号	「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願	利根郡昭和村糸井 184-2 利根沼田農民連 代表 後藤 利雄	平成29年5月15日
		小野章一	産業観光常任委員会
	<p><b>【請願趣旨】</b></p> <p>米価が生産費を大きく下回る水準に下落し、多くの稲作農家が経営の危機に陥っています。また「安いコメ」の定着によって、生産者だけでなくコメの流通業者の経営も立ち行かない状況となっています。</p> <p>こうしたなかで政府は、農地を集積し、大規模・効率化を図ろうとしています。この低米価では、規模拡大した集落営農や法人ほど赤字が拡大しているのが実態です。</p> <p>平成25年度までは、主要農産物（米、麦、大豆など）の生産を行った販売農業者に対して、生産に要する費用と販売価格との差額を基本に交付する「農業者戸別所得補償制度」がとられ、多くの稲作農家の再生産と農村を支えていました。</p> <p>平成26年度からは「経営所得安定対策」に切り替わり、米については10aあたり7,500円の交付金へと引き下げられ、この制度も平成30年度産米から廃止されようとしています。</p> <p>これでは、稲作経営がますます困難になり、水田の持つ多面的機能も喪失し、地域経済を冷え込ませてしまうことは必至です。</p> <p>稲作経営は、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守るという観点からも大変重要であり、当面、生産費を償う「農業者戸別所得補償制度」を復活させ、欧米では当たり前となっている、経営を下支えする政策を確立することが必要だと考えます。</p> <p>以上の趣旨から、下記「請願事項」について、関係機関への意見書を提出するよう求めます。</p> <p><b>【請願事項】</b></p> <p>1. 農業者戸別所得補償制度を復活させること。</p>		